



多文化共生をキレイゴトにしないために

# 多文化共生と夜間中学

—— 在留外国人の教育課題 ——

大重 史朗 著

在留外国人に頼らざるを得なくなった日本経済。教育現場では、教育機会確保法ができて以来、夜間中学や定時制高校の存在が見直されている。国や各自治体の行政、地元住民による日本語ボランティアなどが連携し、誰も取り残さない社会を作ることではできるのだろうか。

前作『「移民時代」の日本のこれから——現代社会と多文化共生——』の発刊からはや7年の歳月が過ぎ、日本を取り巻く国際情勢や社会情勢は変化を遂げている。在留外国人の国籍などさまざまな国や地域から家族ともども来日し、中長期にわたり国内で生活する外国籍の人々。その子どもは日本で生まれ育っているという現状。激動の世界とともに変化を遂げる側面と「何も変わっていない」側面がある。それを支えるのは国か？ 行政？ 果たして住民か？ それぞれの役割はもはや「立場が違う」では済まされない多文化共生社会と なっているのだ。それを教育

の世界に何ができるのか。

メディアでは外国人の生活や彼らの「受け皿」となっている夜間中学の問題を取り上げられることが多くなった時代にマッチした、これまでの論点整理と今後の展望を論じた、元ジャーナリストならではの、現場（フィールド）重視の画期的な研究書。



四六判、256ページ  
定価2600円+税

ようらんしゃ  
揺籃社

八王子市追分町10-4-101 TEL.042-620-2615 FAX.620-2616  
<https://www.simizukobo.com/> E-mail info@simizukobo.com

注 文 書

地方小取扱

貴 名

書名・著者

大重史朗 著

多文化共生と夜間中学

—— 在留外国人の教育課題 ——

発行所 揺籃社 電話 〇四二一六二〇一二六一五

ISBN978-4-89708-454-1 C0036 ¥2600E

注文数

冊

定価 2600円+税